

将来像 どう描く？

八学大でライフプランセミナー



就職や結婚、出産など将来像の描き方について理解を深めた「大学生のライフプランセミナー」

八戸

就職や結婚、出産など将来設計について考える「大学生のライフプランセミナー」が10月30日、八戸学院大で開かれ、同大の地域経営学科と人間健康学科で学ぶ1年生約140人が、将来像の描き方について理解を深めた。

青森県が推進する「未来を描くライフプランニング支援事業」の一環。NPO法人プラットフォームあおもり(青森市)の米田大吉理事長が

「自分らしさ」を自分で創る」をテーマに講義をした。米田理事長は「経験は自身の財産。その財産が人生を決めて行く上で大切になる」とし、大学生の早い段階から、さまざまな体験や経験をすることの意義を解説。人生にはさまざまな岐路があり、「選択」が必要となる場面も出てくることを強調した上で、「自分の力で選択をする力を身に付け、『自分の人生は自分で創る』という覚悟を持ち、前に進んでほしい」と学生に向けてエールを送った。

(三浦十尋)